

神宮教化研修会

6月27日に、熱田神宮会館において神宮研修が開催されました（愛知県神社庁研修所主催、愛知県神社庁教化委員会共催）。当日は参加者66名で、次回御遷宮の啓蒙に即応する態勢の強化を図る目的で開催されています。

熱田神宮参拝後、白井副庁長より挨拶。引続き、今回の第一講師として研修を務める白井副庁長が「第62回神宮式年遷宮—御木曳について」のテーマのもと、元教化常任委員の白山神社宮司小島幸雄氏と共に、行程や当時の苦労話などの講話を頂きました。その後、両氏の話をもとに「第62回神宮式年遷宮—御木曳奉迎送」のビデオを視聴しました。

昼食後、午後からの講演として神宮権禰宜の小針孝裕氏により「式年遷宮のおまつり」と題する講演がなされました。氏は第61回と第62回、2回の御遷宮の経験と自身の調度部でご奉仕を踏まえて、特に祭典を支える裏方の視点から貴重な話を頂きました。20年前と今回とを比較して、専門の物品を作成する人々がいなくなったこともあり、それに代わるものを全国各地から探さねばならないなどの苦労話が聞かれました。

最後の講義として「御木曳奉搬・用材・建築について」と題して神宮技師近藤裕嗣氏による講演がありました。氏は建築の観点から御遷宮についてスライドを用いながら丁寧に解説いただきました。今回のご遷宮を経験した20数名の小匠が摂末社での仕事を平成27年から約10年かけて行っていますが、次回の御遷宮にむけての研鑽を積んでいるところです。また次回の御遷宮にむけて御用材の準備（乾燥・墨付け）を行っているところです。我々技師も御遷宮の伝統を引き継ぐべく努力をしていきたいと締め括られました。講演後の質問がなされ、受講者の関心の高さが伺われました。

閉講式では三浦正典教化委員長から受講者を代表して連史之氏に修了証が手交され、盛会裏のうちに終了しました。



白井副庁長講演



小島幸雄氏講演



神宮権禰宜小針孝裕氏講演



神宮技師近藤裕嗣氏